

令和3年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文A	学年	第3学年	学 科 類	商業科
単位数	2単位	教科書	現代文A（東京書籍）				
副教材	現代文A 学習課題ノート						

学習目標	近代以降の様々な文章を読み、文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりします。また、人間や社会、自然などについて自分の考えを深め発展させる能力を養っていきます。
------	--

キャリア教育の視点	読むことや表現することを通して、目的等に応じて日本語で「伝え合う力」（コミュニケーション力）を高めていきます。また、文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る中で、自己を見つめ、人間性の向上を図ります。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	随想・評論編	筆者の仕事に対する姿勢がどのようなものかを読み取り、仕事の持つ奥深さについて考えます。	中間 考 査 期 末 考 査
	5月			
	6月	小説・詩歌編	人間と自然の生命のつながりや、生と死の持つ二面性について考えます。	
	7月	〈附録〉	アンドロイドの話題を通して、自分という存在について考えます。	
2 学 期	8月	〈随想・評論編〉	生物多様性の重要性と課題について理解を深め、「豊かさ」の定義について再考察します。	中間 考 査 期 末 考 査
	9月	〈小説・詩歌編〉	ユーモラスな表現の中に潜む、存在の孤独性や、「許し」の本質について考えます。	
	10月			
	11月	〈小説・詩歌編〉	短編小説の世界を味わい、主題について考えます。	
	12月	〈付録〉	「本」とはどのようなものかと言えるか考えます。	
3 学 期	1月	〈随想・評論編〉	正解がない問題に対する「思考」の在り方について学びます。	
	2月			
	3月			

学習の方法	週2時間の授業では、教科書・学習課題ノートを中心にした学習を行います。文章を丁寧に読み、語彙を増やしたり自分の考えを深めたりします。また、自分自身で書いたり発表したりしたものを、グループやクラス内で相互評価し、より良い表現を目指します。
-------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は次の3点で評価します。 1 授業への参加状況と活動意欲 2 学習課題ノートやプリント等の活用状況 3 作文や発表の内容及び相互評価への取組状況
-------	--

備考	
----	--